

## 国際赤十字・赤新月運動館



### The Power of Humanity

2025年4月13日から10月13日までの184日間にわたり、大阪 夢洲を会場に大阪・関西万博が開催されます。160を超える国・地域・国際機関をはじめ、企業やNGO/NPO、市民団体等が、「いのち輝く未来社会へのデザイン」をテーマに最新技術や独自の文化を独創的なパビリオンで紹介し、未来に向けた取り組みを体験することができます。

赤十字は「国際赤十字・赤新月運動館」として国連などの国際機関と同じ区画にパビリオンを出展します。「人間を救うのは、人間だ。」をコンセプトに、世界の人道危機、そこに立ち向かい、立ち上がる人々のヒューマンストーリーを通して赤十字の使命と人間のチカラを感じるパビリオンです。

人間を救うのは、人間だ。



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society



website

# PAVILION

万博会場全体の広さは約155ha(東京ドーム約33個分)。  
高さ12~20m、幅30mの世界最大級の木造建築物である  
大屋根リングが会場全体を取り巻き、上を歩いて会場や大阪  
湾を見渡すことができます。そのほか、iPS細胞から作製され  
た本物の心臓のように拍動する「iPS心臓」や、世界最大級の  
「火星の石」、人間そっくりの「アンドロイド」(人型ロボット)など、  
独創的なパビリオンと共に見どころがたくさんあります。

赤十字のパビリオン「国際赤十字・赤新月運動館」は、  
300㎡(25m×12m)の空間を3つのゾーン(ZONE1・2・3)に  
分け、約30分かけて赤十字の世界観を体感していただけます。



万博会場地図ベース図

提供:2025年日本国際博覧会協会



**ZONE 1** ZONE2へのプロローグとして世界中の人々の平穏な日常を空間で演出。



**ZONE 2** 災害・紛争で突如として理不尽に日常を奪われる人道危機の厳しい現実を、体験者のリアルな証言と共に没入感のあるドームシアターで体験。



**ZONE 3** ZONE2のシアターで感じた自身の思いを幅8メートルの大型スクリーンに投稿することができます。また、赤十字の幅広い人道支援活動を壁一面で紹介。

## MESSAGE

人道危機で平穏な日常を奪われることの理不尽さと、それに苦しんでいる人の存在を自分ゴトとして感じていただきたい。そして、その現実に向き合う勇気と、苦しんでいる人を救うことの大切さに気づき、誰かのために自分ができることがあると感じ、一歩踏み出すきっかけになることを願っています。

## HISTORY

### 万博と赤十字

国際赤十字の誕生から4年後、1867年に開催されたパリ万博では、ジュネーブ条約と赤十字の普及のため戦争負傷者の救護資器材が数多く展示されました。敵味方の別なく救うという思想と実践方法が世界へ向けて発信されたのです。

日赤の創立者佐野常民も万博会場で初めて赤十字に出会い衝撃を受けます。その後、1873年ウィーン万博では、わずか6年で各国に赤十字が広がった様子を目にし、日本赤十字社設立への思いを強くしました。帰国後の1877年博愛社を設立。1886年日本のジュネーブ条約加入の翌年日本赤十字社に改称します。万博で発信された「救いたい」という思いを受けとめ、日本に赤十字社が誕生したのです。万博と赤十字は、時を超えて救いたいという思いでつながっています。



上:パリ万博(1867年)の赤十字パビリオン  
左:ウィーン万博(1873年)当時の佐野常民

## EVENT, INFORMATION

### 赤十字情報プラザ 企画展 「万博と赤十字～日赤発祥の原点は万博にあり～」

会期 | 2024年10月1日～2025年10月30日(現在開催中)  
公開 | 事前予約制 火・水・木 10:00～16:30

WEBミュージアムも同時開催  
<https://jrc.or.jp/webmuseum/>



web museum

### 赤十字パビリオンの最新情報は特設ウェブサイト、公式SNSで随時発信しています

日赤特設ウェブサイト | <https://expo2025.jrc.or.jp/>  
公式SNS | X: @Expo\_RedCross  
Instagram | @expo2025\_redcross  
Facebook | @expo2025redcross  
SNSへのフォローをぜひお願いします。



website



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society